

隨泉寺寺報

平成18年(2006年) 8月号 第432号

TEL 082-892-0217 <http://www.oterasan.co.jp/~zuisenji/>

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

お盆法座

講師 住職自修

講題 「お盆を迎えるにあたって」

『風清し 月はさやけし いざ共に 踊り明かさん 老いのなごりに』 良寛
良寛さんは子供たちと手毬をつきながらいつまでも遊び続けたというほほえましい暮らし方をなさいましたが、盆踊りも大変にお好きだったようです。季節になってあちらこちらの村で、トトーン、トントン、トントトト、と太鼓がなり始めますと、もうじっとしておれなくなってしまいます。

『きみ歌へ われ立ち舞わん ひさかたの 今宵の月に い寝らるべしや』 良寛
今年の隨泉寺ビアガーデンは70名あまりの方が参加組手下さり、大変盛況でした。カラオケも用意していたのですが、飲むほうが忙しくて歌のほうはあまり弾みませんでした。しかし今年は天気にも恵まれ、ついにビールを100リットル飲み干しました。

『思いわび さても命のあるものを うきにたえぬは 涙なりけり』 道因法師
長い年月、大切な人を恋慕って、嘆き疲れて死んでしまうと思ったが、それでも命だけはつないでいるのだが、そのつらさに絶えられず、涙ばかりがこぼれてやまないことだ。

8月の法座予定

- 8月13日.....掃除 平原東
- 8月16日朝席午前10時より.....お盆法座
- 8月16日昼席午後1時半より.....初盆追悼法要
- 9月2日午後6時より.....門信徒会本部役員会



☆香典返しにかえて

門信徒会へ 金 一封 藤井 義雄殿 故 藤井 テル子様 香典返しとして
金 一封 川本 浩殿 故 川本 忠様 香典返しとして

☆平成18年初盆を迎えられる方

俗名	法名	命日	行年	地区
瀬田 節子	釋淨節	平成17年8月4日	71才	瀬野
佐々木 正子	釋正見	平成17年9月5日	93才	中須賀
向井 邦嘉	釋淨嘉	平成17年9月13日	74才	平原2
福永 直彦	釋直道	平成17年9月28日	44才	長者原西
吉澤 喜代子	釋歛喜	平成17年10月5日	99才	他所
吉田 時世	釋頭信	平成17年10月27日	83才	長者原東
荒野 ミサコ	釋妙清	平成17年10月30日	79才	中須賀
山根 万里子	釋妙万	平成17年11月8日	46才	長者原西
細工 環	釋宣忠	平成17年11月15日	85才	上平原2
竹下 トキミ	釋淨香	平成17年11月17日	88才	井原
吉田 一二三	釋一念	平成17年11月17日	92才	長者原東
熊川 盛三	釋盛養	平成17年11月19日	67才	鴨の巣
磯脇 武義	釋真義	平成17年11月28日	82才	瀬野
山中 喜三	釋歛喜	平成17年12月4日	95才	平原西
岡田 昭人	釋昭然	平成17年12月7日	77才	下平原
福永 ハツミ	釋初歛	平成17年12月8日	83才	府中
天野 静夫	釋寂静	平成17年12月15日	97才	井原
和田 敏子	釋明敏	平成17年12月19日	62才	平原西
井原 愛子	愛樂院釋喜光	平成17年12月24日	83才	西条
山口 健治	釋健善	平成17年12月27日	66才	井原
佐々木 トミコ	釋尼心道	平成18年1月4日	87才	荒野
尾崎 勇	釋勇超	平成18年1月13日	57才	井原
黒川 みつ	慈心院釋尼良昌	平成18年1月13日	91才	長者原西
磯部 陽一	釋良敏	平成18年1月14日	89才	平原西
谷浦 ミドリ	釋清緑	平成18年1月19日	85才	中須賀
岡田 弘登	釋弘誓	平成18年2月8日	69才	下平原
高竹 照子	釋照明	平成18年2月9日	78才	他所
縫部 清隆	釋清信	平成18年2月11日	69才	出宮
尾形 貢吉	釋淨貢	平成18年2月12日	58才	下平原
大歳 憲正	釋明憲	平成18年2月25日	59才	井原
原 ハルエ	婦命院釋尼香信	平成18年2月27日	95才	廿日市
井上 明江	釋安養	平成18年3月16日	73才	桑原
住田 佳代子	釋明淨	平成18年4月16日	81才	井原
二野宮 綾子	釋淨香	平成18年4月17日	67才	出宮
荒木 忠	釋驗忠	平成18年4月22日	75才	瀬野
菊田 泰男	釋清泰	平成18年4月22日	56才	望ヶ丘
寺本 ヨシノ	釋良証	平成18年5月5日	95才	上平原
藤井 テル子	釋淨照	平成18年5月11日	82才	上平原
乙川 和典	釋和教	平成18年5月13日	51才	権現
今本 正浩	釋教正	平成18年5月25日	69才	望ヶ丘
末政 ハルエ	釋聞治	平成18年6月6日	99才	上平原
吉田 美和子	釋清美	平成18年6月17日	54才	コモンライフ
松浦 満寿夫	釋命寿	平成18年6月18日	74才	井原
川本 忠	釋審忠	平成18年6月25日	68才	出宮

☆永代経懇志

永代経懇志 金 拾萬円 藤井 義雄殿 故 藤井 テル子様 特別永代経志として
永代経懇志 金 拾萬円 川本 浩殿 故 川本 忠様 特別永代経志として

8月 カレンダー

東井 義雄

いのちといのちの出会いを 粗末にしていらないだろうか

次の詩は、十五年前、私が担任した春吉君の詩ですが、こういう方向に、人間のしあわせはあるのではないのでしょうか。

わらうち 五年 沢田春吉

ぼくと 母と わらうちだ
母はわらをうっている
ぼくは わらまわしだ
母がとんとん うつたびに ひびきがぼくにつたわっ
てくる
母が十ぺんうったら ぼくが一ぺんまわす
ぼくが十ぺんまわす間には
母は 百ぺんもうつとんとん うつたびに
母のほっぺたが ゆれている



なわなない

きょうは なわなないだ 母と ぼくと なわなないだ
母はかいなわ (普通の太さの縄) ぼくは ほそなわ
競争みたいになあている 詰もせずに なわなないだ
しんとした家の中で 母とぼくと なわなないだ

もちつき

きょうは もちつきだ おとうさんにそなえる もちをつくのだ
母とぼくと もちつきだ ぼくはまぜやく (きねどりの役目) 母は つきやく
母が一ぺんつけば ぼくが一ぺんまぜる 母が五十かいつくと ぼくがかわってつく
ぼくが五十かいつくと またかわる
ぶたりで おとうさんにそなえる もちつきだ

母一人子一人の貧しい春吉君の家庭です。でも、母と子のいのちがピタッとであっています。呼吸さえひとつのようです。「ぼくが十ぺんまわす間に母は百ぺん」「も」の「も」の中にも、お母さんの苦労をちゃんと確実に感じとっている春吉君が感じられます。ちかごろやかましくいわれるようになった「対話」どころか、「話もせずに」なわなないし、仕事の中で、母と子がピタッとであっています。

おしまいの「もちつき」だって、客観的には、あわれな、さびしい母子家庭の「もちつき」です。でも、この二人の心の中には、亡くなった「おとうさん」までが、ちゃんと生きています。生きている者のであいどころか、亡くなった「おとうさん」とのであいまでも生まれているのです。

こういう「であい」を、今の時代にもとり戻し、「であい」の道をきりひらこうではありませんか。

大歳 由喜子

感謝

平成18年2月25日午後5時、私の一番大切な宝（主人）を亡くしました。主人は10年前に新生物（ガン）と診断され、四ヶ月で退院し、社会に復帰して、元気に成りました。

が、平成15年1月に声帯と舌を切除する事になり、世界でも数える位しかない大手術でした。重度障害者と認定され、食べる事も出来ず、声も出ない、地獄のような生活が始まりました。

平成17年7月10日、吐血し、救急車で、病院に運ばれ、吐血はなかなか止まらなく、2リットル、人間の血液のほぼ全部だそうです。急に輸血が始まり（2リットル）、先生は【逢わせたい人を呼んで下さい、時間の問題です】と言われ、身内と友人には、逢わせる事が出来ました。

私は神仏を信じ、主人の手をしっかりとにぎり、《頑張って》と言葉を何回も、繰り返している内、顔色が、戻ってきました。苦しい状態でも、私の体を気づかってくれる主人、《私は貴男と一心同体よ、これからは、いつも一緒だから心配しないでね、いいのよ。》

少し安定の状態になり、近くの個人病院に移り、とても信頼出来る先生と恵り逢え、12月25日（クリスマス）には先生がギターを弾きながら歌ってくださり、ケーキと花束のプレゼントを頂き、心温まる気持ちでいっぱいでした。

主人は声が出れば、何かを言いたかったでしょう。涙を流していました。感動したのでしょうね。その雰囲気は、ドラマのシーンを見るようでした。症状が日増しに悪くなり、年が明け平成18年1月14日主人の誕生日には誕生日パーティーをして頂き、この世にここまで暖かい気持ちで接してくださる先生は、いらっしやるとは思っていませんでした。その光景は深く深く心に残っています。先生の言葉一言一言が主人と私には良薬で感謝の気持ちでいっぱいです。

主人に付き添って、7ヶ月間の病院生活、病との戦い辛かったですよね。最後まで頑張ってくれて本当に有難うと、心から感謝し仏前で手を合わせる毎日、今までに味わった事の無い幸せな7ヶ月間でした。本当に有難う。

これからの私の人生には、先生の気持ち（心）は深く深く心に残る事でしょう。

大歳憲正 法名釋明憲 平成18年2月25日 行年59才